

平成29年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 42
平成30年1月11日発行
文責 校長(平井正彦)

見かけも心も美しく ～ことばを美しく～

保護者、地域みなさん、あけましておめでとうございます。年末・年始は、大変穏やかな天気に恵まれました。みなさんも、穏やかな新春をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本年も、赤穂中学校は、子どもたちの成長と自立を支援し、豊かな心を育むために、教職員全員が全力で子どもたちに関わっていく所存でございます。中には、不行き届きもあり、ご心配をおかけしたり、ご不満に感じることもあるかと思いますが、今後とも本校教育活動にご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、本校では、これまでに「ことばの乱れ」や「ことばの暴力」について、いろいろな場面で子どもたちを指導してきました。ことば一つで、相手に希望を与えることも、命を奪うこともできるなど、ことばの持つ力の大きさやことばを選ぶ大切さに、多くの子どもたちは気づいてくれたと思います。

しかし、思い通りにならない状況になると、いら立ちを感じ、「あほ、ぼけ、むかつく、うざい、殺すぞ、死ぬ、がいじ、消えろ、きもい」などのことばを口にする子どもは、後を絶ちません。言われた子どもの身になって考えると、悲しくなって遣えないことばばかりです。

以前、通勤・通学の電車の中で、化粧をする女子高校生や大人のことが話題になりましたが、子どもも大人も、自分の外見や持ち物など、「外見の美しさ」ばかりに気をとられることが多くなってきたように感じます。外見だけではなく、人を大切にする、人に不快感を与えない、人を気づかうなど、「心の美しさ」や「内面の美しさ」も大切にしなければ

いけないことを忘れていないかと思えます。

ところで、子どもは赤ちゃんの頃から、身近な親や家族のことばを繰り返し聞いて、ことばの意味を理解し、使えるようになります。「うざい、きもい、死ぬ、消えろ」などのことばが繰り返し話の中に出てくる環境で育ったことで、自然に身についたものだと思います。もちろん、子どもたちの遊びや口げんかの中で、身につけたことばも多いことでしょう。

いずれにせよ、これらのことばを使い慣れている子どもが、面接試験など、その時と場に応じて「正しいことば」「美しいことば」を使って、自分を表現することは難しいと想像します。

「ありがとうございます」「すみません」「失礼します」「どういたしまして」など、相手を大切に思う温かい気持ちが伝わる美しいことばは、たくさんあります。毎日の生活の中で、美しい日本語を繰り返し聞き、使う習慣がつけば、子どもは、人の心を傷つけることばを平気で使っていた自分の心の貧しさに気づいてくれると信じています。

私たち大人が、美しいことばで子どもに接し、外見だけでなく内面の美しさにも気を配れる力を育むのは、親や大人の大切な責務ではないでしょうか。

■お願い■

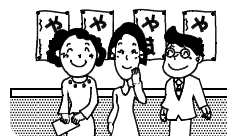
生徒には2学期終業式の式辞の中で、障害を持つ人を差別することばについて話し、改めてその使用を禁止したところです。

心美しい子どもへの成長をめざして、ご家庭でもお子さんを交えて考える機会をつくっていただきますようお願いいたします。

オープン・スクール 1/17(水) 1日中参観OK!

■3学期は、「1.17」にオープンスクールを実施します。2学期のオープンスクールは、11/6～10で実施し、合唱コンクール、文化祭への参観もあり、5日間で490名の方にお越しいただきました。

お忙しい時期ですが、顔を見るだけでも結構です、授業を頑張っている子どもたちを覗いてやってください。



表彰と記録

第61回JA共済小・中学生書道コンクール 12/9

- ・金賞 宮本 佳穂(2年)
- ・努力賞 後藤 莉音(1年)、長田 紗和(1年)
延近 悠希(2年)、廣村 英(3年)
金川 知史(3年)

兵庫県中学校総合文化祭〔美術部門〕 10/27

- ・特選 漆崎萌々絵(3年)
- ・入選 萩原百萌香(2年)、森内 大翔(1年)

赤穂市民文化祭学童展〔絵画の部〕 11/1

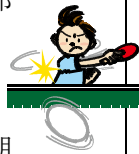
- ・特選 1年 柴田 陽優、谷 一輝
前田 唯花
2年 野上 太、大崎 和葉
名田 陽香、津野くらら
3年 徳田 貴大、石井あゆみ
溝元 桜子、井上瑛太郎

兵庫県幼小中造形教育展

- ・特選 3年 漆崎萌々絵
- ・入選 1年 堀口 大翔
- 2年 中村 壮佑、松本 夢朋
津野くらら、延近 悠希
穴戸 悠起、名田 陽香
中崎 桜香、瀧谷 咲月
大上 隼人、奥澤 陶子
3年 濱本 愛梨、竹田 未歩
桃井 璃子、岡嶋 捺菜
二宮野ノ花、大鹿 真愛
塚本 光、金川 知史

赤穂市福祉作文 中学生の部

- ・特選 松本 夢朋(2年)
- ・佳作 廣村 英(3年)



ソフトテニス 西播地区中学校のじぎく杯

赤穂海浜公園テニスコート 12/3
(女子個人) 5位 竹下 柚那・高岡 沙良
※県大会出場

卓球 第18回バタフライ・ダブルスチーム杯 太子町民体育館 12/17

(女子の部) 1位
橋本 采女(2年)、西濱 璃音(2年)
富田 結羽(2年)、野山 月菜(2年)

剣道 赤穂義士祭奉賛剣道大会 12/14

(中学女子個人) 2位 鳴瀧 冴子(2年)
3位 片岡 三咲(1年)
(中学男子個人1年) 1位 井上 晴矢
3位 高田 誠也
(同 2年) 2位 今井 悠貴
(中学女子団体) 1位 鳴瀧冴子、片岡三咲
※坂越中学校合同チーム
(中学男子団体) 2位 今井悠貴、大崎誉志
井上晴矢、高田誠也
山田皓暉、椎畑元稀

吹奏楽 兵庫県アンサンブルコンテスト西播地区大会

赤とんぼ文化ホール 12/23
(管打7重奏) 銀賞
田淵 花菜(2年)、萩原百萌香(2年)
大原悠太郎(1年)、寺内 蓮(1年)
寺田圭次郎(1年)、森内 大翔(1年)
内波 滉人(1年)
(管打6重奏) 銅賞
延近 悠希(2年)、福岡あかね(2年)
金谷 美憂(1年)、前田 唯花(1年)
松田 侑女(1年)、今井 穂花(1年)

全国中学校人権作文コンテスト 兵庫県

・奨励賞 数本 泰知(3年)

3学期の学年別指針

■ 1年生は、新1年生の不安や心配など、入学後の心の負担をできるだけ軽くすることです。

入学して間もない頃は、生活環境が大きく変わり、分からないことも多く、不安な毎日が続くことは、みなさんも経験しています。不安を



解消するために、自分は何をして欲しかったのかを思い出し、それを新1年生にしてやってください。

先輩として何ができるのか、みんなできよく話し合うことが、先輩としての最初の仕事です。

■ 2年生は、学校全体を引っ張っていく力強さと、新2年生・新1年生を大きく包み込む温かさをもった集団に成長して下さい。3年生の役割の大きさと仲間と力を合わせて努力することの大切さは、今の3年生が見せてくれましたが、3月には卒業します。生徒会役員選挙への取組

を通して、生徒会活動、学校行事、地域行事、部活動など、全てにわたって、良きリーダーとして活躍できる、しっかりとした土台づくりを始めて下さい。必ずできます。

■ 3年生は、2年生に「先輩」「リーダー」としてのタスキをしっかりと渡すことです。3年生のこれまでの頑張りや成果はだれもが認める場所ですが、自分たちの歩んだ方向と足跡に自信を持って、「形」だけでなく、取り組む「心」や「思い」そして「願い」を確実に引き継いで下さい。

最後に、3年生は、自分の選んだ進路に向かって、逃げることなく全力で立ち向かっていきなさい。1年生・2年生の後輩たちは、みなさんの真剣な姿を応援しています。

